

木版画

担当教員 鈴木吐志哉
受講アトリエ【版画工房、402】

2025/06/23(月)-07/12(土)
9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容
1年次に体験した油性木版画1版単色をこの授業ではさらに水性多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。
・版木サイズ300×225mm（4～5版多色）

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	6月23日	月	○	□ガイダンス ・木版画について ・水性摺りの技法をひとつとり		○	□ワークショップ ・用意した版木を使って摺り体験	
2	6月24日	火	○	□トレースについて □彫刻刀について			A下絵制作 Bワークショップつづき Cダイレクトに版木を彫る ※ABCを各自で進めておく	・トレースの方法 ・彫刻刀の安全な使用法 ・彫り方による様々な効果
3	6月25日	水		A下絵制作 Bワークショップつづき Cダイレクトに版木を彫る ※ABCを各自で進めておく			A下絵制作 Bワークショップつづき Cダイレクトに版木を彫る ※ABCを各自で進めておく	下絵 → マットフィルム → 版木
4	6月26日	木		A下絵制作 Bワークショップつづき Cダイレクトに版木を彫る ※ABCを各自で進めておく		○	□木版画表現① ・摺り方による効果	・様々なボカシ摺り ・様々なベタ摺り
5	6月27日	金		下絵制作～トレース～彫版			トレース～彫版	
6	6月28日	土		—	版画講座		—	
	6月29日	日						
7	6月30日	月		彫版			彫版	
8	7月1日	火		彫版～試し摺り		○	□木版画表現② ・彫刻刀以外も使って制作	
9	7月2日	水		彫版～試し摺り		○	彫版～試し摺り	
10	7月3日	木		彫版～試し摺り			彫版～試し摺り	
11	7月4日	金	○	彫版～試し摺り		○	□木版画表現③ ・油性インクによる摺り	
12	7月5日	土		—	版画講座		—	
	7月6日	日						
13	7月7日	月		彫版～試し摺り			彫版～試し摺り	
14	7月8日	火		彫版～試し摺り		○	□木版画表現④ ・作品の展開	・色彩・油性と水性・プレス機と パレンの効果の違い等を生かした 表現の展開
15	7月9日	水		彫版～試し摺り			彫版～試し摺り	
16	7月10日	木		彫版～試し摺り		○	□作品の仕上げ	・水張りやその他の仕上げ ・額装について
17	7月11日	金		本摺り		○	本摺り	
18	7月12日	土	○	講評			—	

学習目標
水性多色木版画作品制作および基本技術と技法の展開。

予習・準備物
筆各種、紙皿2～3枚または紙パレットの小サイズ。筆、紙皿などは沢山あると便利です（100均のものでも可）

注意事項
刃物を使用するので緊張感を持って制作する。

評価方法
提出課題による採点・授業態度・摺りの経験値

シルクスクリーン

担当教員 東樋口徹
受講アトリエ【版画工房/402】

2025/06/04(水)-06/20(金)
9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品（A4／21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5版以上を使った作品（A3／29.7cm×42cm）を一点(紙8枚程度)制作。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	6月4日	水	○	オリエンテーション		○	PCを使用したフィルム作成	PCを使用したフィルム作成説明
2	6月5日	木		制作		○	製版及び刷り方説明	
3	6月6日	金		制作			制作	
4	6月7日	土		— 版画講座			—	
	6月8日	日						
5	6月9日	月		制作		○	色々な刷り方説明	
6	6月10日	火		制作			制作	
7	6月11日	水		制作		○	制作	
8	6月12日	木		制作			制作	
9	6月13日	金		制作			制作	
10	6月14日	土		— 版画講座			—	
	6月15日	日						
11	6月16日	月		制作			制作	
12	6月17日	火		制作		○	制作	
13	6月18日	水		制作		○	制作	
14	6月19日	木		制作			制作	
15	6月20日	金		制作		○	講評	

学習目標

シルクスクリーン版画制作を通して孔版画の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し、環境にやさしい水性インクを使用して刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品（18×25cm位）を1点、5版以上を使った作品（25×38cm位）を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

予習・準備物

4色分解用の写真等の画像データ(200～300ppi程度の解像度でA4サイズ程度)、下絵(A3程度)、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス（ボロ布）、新聞紙、用紙（いずみまたは厚紙セント紙）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

注意事項

初日にPCを使用したフィルム作成の説明及び作成を行います。初日までにPCを使用した4色分解による作品用の写真等の画像データを用意すること。(短辺が1500pixel以上の物)

評価方法

習熟度と提出課題による採点

2年 ファインアート科版画専攻

石版画

担当教員 板津悟
受講アトリエ【版画工房/402】

2025/05/28(水)- 06/03(火)
9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容
石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	5月28日	水	○	指導日		○	指導日	
2	5月29日	木		制作			制作	
3	5月30日	金	○	指導日		○	指導日	
4	5月31日	土		— 版画講座			—	
	6月1日	日						
5	6月2日	月		制作			制作	
6	6月3日	火	○	指導日		○	講評	

学習目標
講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

予習・準備物
制作のもとになるエスキース、ウェス、新聞紙、紙（上質紙厚口、いずみ等）描画材料（ダーマトグラフ、ボールペン、等）、定規、鉛筆、マスキングテープ

注意事項

評価方法
提出課題による採点

リトグラフ

担当教員 中村真理
受講アトリエ【工房/402】

2025/5/07(水)-05/27(火)
9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	5月7日	水		エスキースの完成		○	オリエンテーション、版の準備	
2	5月8日	木		描画		○	描画・第一製版のデモ	
3	5月9日	金		描画・製版			描画・製版	
4	5月10日	土		— 版画講座			—	
	5月11日	日						
	5月12日	月		健康診断				
5	5月13日	火		描画・製版		○	第二製版と刷りのデモ	モノクロ作品完成目安、終わった人から多色作品の制作
6	5月14日	水		自主制作			自主制作	
7	5月15日	木		自主制作		○	ベタ版のデモ	
8	5月16日	金		自主制作			自主制作	
9	5月17日	土		— 版画講座			—	
	5月18日	日						
10	5月19日	月		自主制作		○	自主制作	
11	5月20日	火		自主制作			自主制作	
12	5月21日	水		自主制作		○	自主制作	
13	5月22日	木		自主制作			自主制作	
14	5月23日	金		自主制作			自主制作	
15	5月24日	土		— 版画講座			—	
	5月25日	日						
16	5月26日	月		自主制作		○	自主制作	
17	5月27日	火		自主制作		○	講評会	

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

300×400mm程度の作品のものとなるエスキース、ウエス、新聞紙、紙（試し刷り用上質紙、いづみ等版画用紙）、描画材（ダーマトグラフ、リトクレヨン、とき墨、油性ボールペン等）、筆、マスキングテープ、作業着やエプロン等

注意事項

作業行程の多い技法です、計画的に進めること、エスキースは色も含め考えてきてください。白黒1版の試しの作品と2～3版程度刷り重ねた多色の作品の2点を制作します。採点は多色作品のみ。

評価方法

提出課題による採点

ドローイング

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ【402、版画工房】

2025/04/09(水)- 04/16(水)

9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容

サイズ・支持体・素材・枚数・他。各自の判断で選択して制作。版表現から一旦離れ、自由な表現を繰り返す中から自分の作品について考える授業である。今回は特に多くの枚数をこなすことで、失敗を恐れずに制作する楽しさを存分に意識する期間とする。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月9日	水	○	オリエンテーション		○	制作	ガイダンス・作家紹介
2	4月10日	木		制作			制作	
3	4月11日	金		制作		○	ディスカッション	
4	4月12日	土		— 版画講座			—	
	4月13日	日						
5	4月14日	月		制作		○	制作	
6	4月15日	火		制作			制作	
7	4月16日	水	○	講評			制作	

学習目標

版画制作から離れ、ドローイング制作に集中する時間とする。版画の技法に制約されることなく、様々な支持体や素材を試す事で多角的に各自の表現を研究する。

予習・準備物

- ・画集やWEBなどでドローイングについて調べておく事が望ましい。（授業開始後で可）
- ・素材や支持体は自由とする。各自で様々な描画材を試す事が望ましい（初日のガイダンスでも説明します）

注意事項

危険を伴うもの等の特殊な事項については講師と相談する事。

評価方法

作品内容・制作姿勢。今回は特に枚数を重視する。

版画講座

担当教員 今井圭介
 受講アトリエ 【502】

2025/04/12(土)-07/05(土)
 11：00-12：30

授業内容
 版画の用語や技法についての解説からはじめ、浮世絵版画や日本の近・現代版画の紹介を実際の作品や資料、画像使ってわかりやすくみていきます。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月12日	土	○	版画よもやま話①（版の表現）			実技カリキュラム	
2	4月19日	土	○	版画よもやま話②（版画の技法）			実技カリキュラム	
3	4月26日	土	○	版画よもやま話③（素材と用語）			実技カリキュラム	
4	5月10日	土	○	浮世絵版画①浮世絵版画のはじまり			実技カリキュラム	
5	5月17日	土	○	浮世絵版画②技法と制作システム			実技カリキュラム	
6	5月24日	土	○	日本の腐蝕銅版画と司馬江漢			実技カリキュラム	
7	5月31日	土	○	日本開国！横浜絵と開化絵			実技カリキュラム	
8	6月7日	土	○	光線画の浮世絵師・小林清親			実技カリキュラム	
9	6月14日	土	○	日本の近代版画と創作版画運動			実技カリキュラム	
10	6月21日	土	○	詩と版画			実技カリキュラム	
11	6月28日	土	○	東京国際版画ビエンナーレと現代版画			実技カリキュラム	
12	7月5日	土	○	時代の寵児・池田満寿夫			実技カリキュラム	

学習目標
 「版画」という言葉は明治の終わり頃につくられた造語です。それは版がもつ独自の表現による、版からこそ創出される画（え）ということを強く意識して生み出されたものでした。そうした版画についてルーツをたどったり実物や資料、画像をみたりしながら、より一層に理解を深めていくことを目標にします。

予習・準備物
 授業内容を事前に確認し、ネットや書籍などで予習をすること。また、美術館や博物館、ギャラリーなどの展示をチェックし、積極的に版画鑑賞を行うておくこと。

注意事項
 講義で気になったり興味をひかれたことは自身でさらに研究をするように心がけましょう

評価方法
 授業態度 及びレポート

イラストレーションA（版画）

担当教員 須田浩介
受講アトリエ【402、工房】

2025/04/17(水)-2025/4/25(金)
9:20-12:30/13:30-16:30

授業内容
4枚の作品を描く。描くテーマは各自で決めて良いです。自分なりに表現のフォーマットを考えてから描く。描くもののテーマ、コンセプト、発表する際のブランディングを意識する。テーマ例、四季、トランプ、方角、喜怒哀楽、etc
分かりやすいので4にまつわるものを例に出しましたが別にそこはそんなに意識しなくても良いです。自分の好きな物事などに絡めて自分の表現の枠で4枚描く。

授業スケジュール／計画

			指導	1限	2限	指導	3限・4限	備考
1	4月17日	木				○	オリエンテーション	
2	4月18日	金			制作	○	制作	
3	4月19日	土		—	／版画講座		—	
	4月20日	日						
4	4月21日	月	○		制作		制作	
5	4月22日	火			制作	○	制作	
6	4月23日	水			制作		制作	
7	4月24日	木			制作		制作	
8	4月25日	金	○		制作	○	講評	

学習目標
イラストレーターがクライアントワークで行うアイディア出しラフの提出などのプロセスを活かし制作に取り組みアーティストとしてもイラストレーターとしても必要なコンセプトと作品表現とを繋げる力を伸ばす。アナログ画材を使用し与えられた枠組みの中で作品を制作する上で個々の持つ個性や表現を活かしながらより魅力的な作品表現となる様に作品を描く上でのコンセプトと「何故」をよく考えながら表現に繋げ自分の表現や世界観をブランディングしていく為の授業です。

予習・準備物
学生準備物：画材はアナログツールであれば自由、作品の支持体も自由(サイズはA4サイズ以上)、サイズは4枚とも揃える事。

注意事項
制作に必要な画材は自分で用意してもらうことになります。自分の表現を発揮できる支持体や描画材を選び自分の世界観を遺憾なく発揮し制作をしてください。

評価方法
課題提出と授業態度で評価する。